

令和六年度 第七十八回 郡山第五中学校入学式 校長式辞

校舎に差し込む日の光と全国各地から桜の便りが届いている今日の良き日に父母と教師の会会長 本田友康様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席のもと第七十八回郡山第五中学校入学式が挙行できますことは、この上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

ただ今、呼名された百六十四名の新入生のみなさん、郡山第五中学校への入学、誠におめでとうございませう。本日から皆さんは郡山五中の生徒です。みなさんの入学を在校生も先生方も心より歓迎いたします。

本校は「自ら進んで学ぶ 自学」「思いやりの心で他と接する 共生」「自分の未来は自分で切り開こうとする 自立」を教育目標に掲げ、「支え合い・励まし合い・高め合う学校」「あいさつ日本一の輝く学校」「夢・目標・誇りを持ち一人一人が輝く学校」を目指し、先生方が生徒一人一人の心に寄り添いながら、教育活動に熱意を持って取り組んでいます。また、二、三年生は、授業や生徒会活動、部活動等に熱心に取り組むとともに、心優しい先輩ばかりです。昨年度も、体育部活動・文化部活動の活躍、各種コンクール等での入賞など素晴らしい実績を残してくれました。どうぞ安心して学校生活を送り、それぞれの良さを存分に発揮してください。

令和二年度に本校を卒業し、この春、東京大学文科一類に合格した真部結(まなべ ゆう)さんからお話を聞く機会がありました。彼女の目標は司法試験に合格し検察官になることだそうです。中学校時代サッカー部に所属し、レギュラーとして活躍する一方、学習面では自分の考えをしっかりと持ち、まわりに左右されることなく積み重ねを大切にコツコツと取組んだそうです。具体的には、「毎日の授業を大切にしたこと」「定期テストは本気でがんばったこと」「どの教科もまんべんなく取組んだこと」そして「高校に入ってから満足せず継続して取り組むこと」とお話をされておりました。五中を卒業した先輩方は、市内外を問わず各方面で活躍され、素晴らしい先輩方が数多くおられます。その歴史と伝統のある郡山五中で学ぶことができることに誇りを持ち、それぞれの目標を設定して、何事にも途中であきらめることなく、粘り強く、そして目標達成のために努力し続けてください。

郡山五中の令和六年度のテーマは「自己更新」です。昨日よりも今日、今日よりも明日とほんのわずかでも成長できるようにがんばることです。みなさんの限りない可能性と新たな挑戦を心より期待しております。

保護者の皆様、本日は、お子様の中学校へのご入学、誠におめでとうございませう。教職員五十名が一致協力し、一人一人のよさや可能性を最大限に引き出すとともに、自己実現のための教育活動を展開してまいります。

また、学校教育の充実には、「学校と家庭」が一体となり教育を推進していかなければならないと考えております。本校教育活動への一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、ご多用の中ご臨席をいただきましたご来賓の皆様に心から御礼を申し上げますとともに、この素晴らしい式場を作成してくれました、新二年生、三年生に感謝し、式辞といたします。

令和六年四月八日

郡山市立郡山第五中学校長 小山健幸